

## ●相談支援・情報提供部会

日時	平成24年3月15日(木) 14:00～16:30
場所	奈良県庁 5階 第1会議室(小)
出席委員	5名(欠席:3名)
第2回部会後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん相談支援センター、がん患者サロンのチラシ:部会での意見を踏まえて修正後、メール、FAXにて各委員へ情報提供。委員承認後、チラシの印刷、県内関係機関へ配布。</li> <li>・がん相談支援センター利用状況調査(案):部会の意見を踏まえて修正後、H24年1月～2月頃に実施。</li> </ul>
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がん相談支援センター、がん患者サロン一覧のチラシをH24年1月にがん診療連携拠点病院、県内薬局、訪問看護ステーション、市町村保健センター、保健所等に配布し、がん相談支援センターの認知度を上げる取組を実施。</li> <li>・がん相談支援センター利用状況調査:H24年2月1日～2月29日に県内がん診療連携拠点病院等(6カ所)を利用された相談者を対象に実施。</li> <li>・相談員必携に掲載する情報として、県内医療機関(67カ所)を対象に、がん相談窓口に関する状況調査を実施。</li> </ul>
議題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健所におけるがん患者サロンの開設について</li> <li>2. がん相談支援センター・患者サロン一覧の配布について</li> <li>3. 奈良県版相談員必携について</li> <li>4. がん相談支援センター利用状況調査について</li> <li>5. 来年度の計画について</li> </ol>
内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保健所におけるがん患者サロンの開設について <ul style="list-style-type: none"> <li>・3月13日 吉野保健所にて第1回『がんサロンよしの』を開催。12名の参加があった。</li> <li>・来年度も南和医療圏にて、がんサロンを継続していく予定。</li> </ul> </li> <li>2. がん相談支援センター・患者サロン一覧の配布について <ul style="list-style-type: none"> <li>・がん相談支援センター、がん患者サロンの認知度の向上の取組として、チラシを県内関係機関へ配布。</li> </ul> </li> <li>3. 奈良県版相談員必携について <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回部会での意見を踏まえて、修正案を提示。</li> <li>・県内医療機関(67カ所)を対象にがん相談窓口に関する状況調査を実施。掲載に同意の得られた医療機関について情報を掲載予定。</li> <li>・配布先:県内医療機関の相談窓口、薬局、訪問看護ステーション、市町村保健センター、保健所等</li> </ul> </li> <li>4. がん相談支援センター利用状況調査について <ul style="list-style-type: none"> <li>・H24年2月1日～2月29日にがん相談支援センターを利用した相談者を対象に実施。調査結果について報告。</li> </ul> </li> <li>5. 来年度の計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県がん対策推進計画の見直しスケジュール、委員改選について説明。がん対策推進計画の評価・案の作成、H25年アクションプランの策定について、部会で担当する旨、承認される。</li> </ul> </li> </ol>
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談員必携の修正。</li> <li>・がん相談支援センター・がん患者サロン一覧の改訂版の作成、配布。</li> <li>・保健所におけるがん患者サロンの継続、相談窓口の開設。(実施方法は今後検討)</li> </ul>
協議会での協議事項	

## ＜奈良県がん患者サロン＞

### ○ 目的

奈良県がん対策推進計画（平成21年11月策定）において「すべての拠点病院で患者サロンを設置」とともに、奈良県がん対策推進アクションプラン（平成23年3月策定）においては、「保健所にピアサポーターによるピアサロンの設置」を目標として掲げていることを踏まえ、がん患者やその家族が、相互に交流、情報交換することを目的に奈良県がん患者サロンを実施する。

### ○ 対象

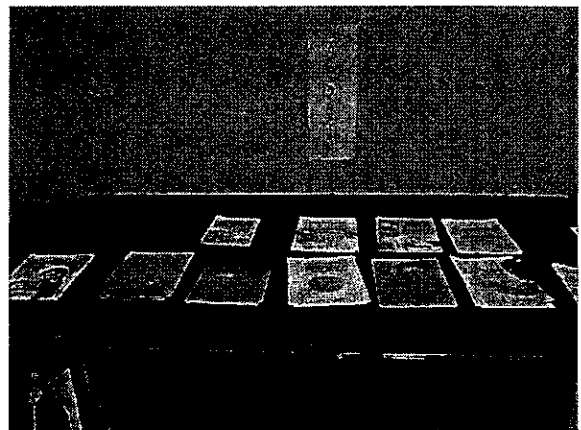
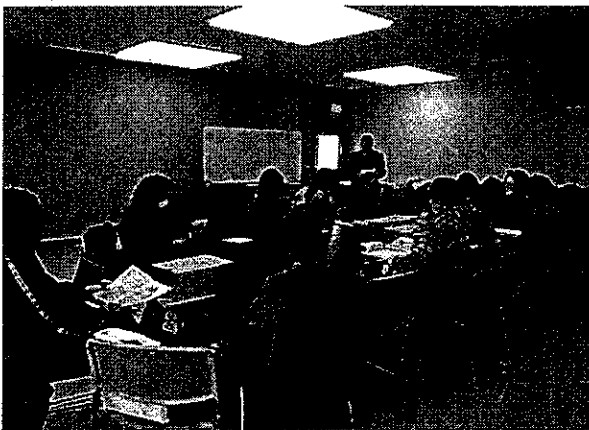
県内に居住するがん患者及びその家族等

### ○ 内容

対象者は自由参加とし、参加者相互の交流、情報交換を行う。

日時・場所	内容	参加者
平成24年3月13日（火） 13:30～15:30 吉野保健所 大会議室 （吉野郡下市町）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●がんサロンの約束事の確認</li> <li>●自己紹介</li> <li>●フリートーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者:12名 患者 9名、家族 1名 県立五條病院看護師 2名</li> <li>・スタッフ:5名 県立医科大学附属病院相談員 1名 保健所 2名 保健予防課 2名</li> </ul>

### ○ 当日の様子



- ・ 南和医療圏で初めてののがん患者サロンを3月13日に開催した。当日は、ピアサポーター5名を含む12名の参加があった。
- ・ 県立五條病院でもがん患者サロンの実施を検討されているとのことで、看護師2名（がん性疼痛看護認定看護師、看護副部長）の参加もあった。
- ・ フリートークでは、抗がん剤による副作用や告知の問題、患者・家族の心のケアの必要性などが話し合われた。
- ・ ピアサポーターからは、県内のがん患者サロンの紹介や外来に係る高額療養費限度額認定証の取り扱いなどについての情報提供もあった。

## 《がん相談支援センター利用状況調査について》

### 1. 調査目的

平成22年12月実施の『奈良県がん患者等意識調査』の結果、がん相談支援センターの認知度は25%、そのうち利用者は13%と、認知度、利用度共に低いことが判明した。そこで、今年度は、がん相談支援センター利用者を増加するための取り組みとして、案内チラシを作成し県内の医療機関等に配布いたしました。その後の利用者の状況把握と、今後の相談窓口の充実のための対策に活用することを目的に調査を実施します。

### 2. 調査対象

平成24年2月1日(水)～2月29日(水)(日・祝祭日は除く)までに、県内がん相談支援センターを利用したがん患者及びその家族等(面接、電話等による)

### 3. 調査方法

#### (1) 面接

- ・面談時に調査協力をお願いをする。(別紙「がん相談支援センター利用状況調査お願い」参照)
- ・調査協力を同意いただいた方に対して、相談後に「がん相談支援センター利用状況調査【利用者用】」(以下、【利用者用】)を相談者により記入していただく。
- ・記入後の調査票は各相談支援センター(相談窓口)に設置したボックスで回収する
- ・【利用者用】の調査票に来所・電話を右上欄に記入ください。

#### (2) 電話

- ・電話相談の場合は調査協力をお願いをして、了解後に聴き取り調査を実施。  
【利用者用】を相談員により記入する。(【利用者用】の項目6は必須ではない)
- ・【利用者用】の調査票に来所・電話を右上欄に記入ください。

#### (3) 面接及び電話

- ・相談後に「がん相談支援センター利用状況調査【相談員用】」(以下、【相談員用】)を相談員により記入する。(調査期間中に利用された方すべてについて)

### 4. 調査期間

平成24年2月1日(水)～2月29日(水)(日・祝祭日は除く)

平成24年3月5日(月)までに、奈良県医療政策部保健予防課あて全調査票を送付してください。調査票毎に各医療機関名の記入を確認してください。

### 5. 調査内容

がん相談支援センターを知ったきっかけ  
がん相談支援センターを利用した動機  
がん相談支援センターの利用回数  
相談者の属性・相談方法・相談内容・相談事の解決状況・相談員の対応  
がん相談支援センターの案内表示について

### 6. 調査結果集計と公表

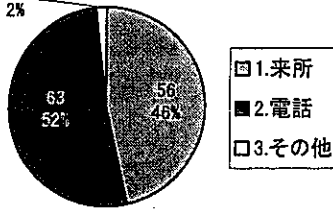
奈良県医療政策部保健予防課担当で集計

結果の公表 平成24年4月以降 奈良県庁ホームページ予定

# がん相談支援センター利用状況調査【相談員用】結果概要

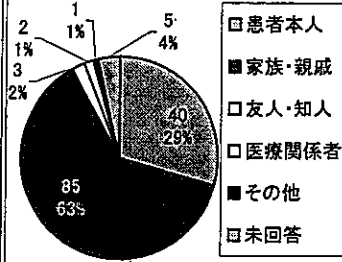
## ●相談方法について

相談方法別相談件数  
【H24.2.1～H24.2.29】



## ●相談者について

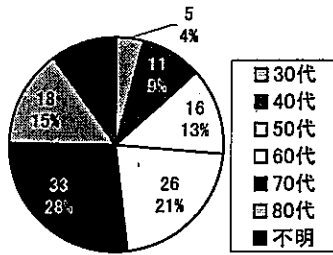
相談者の状況(複数回答)



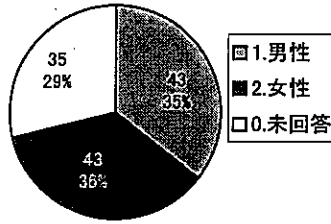
平成24年2月1カ月間の相談件数は121件、来所が56件(46%)、電話63件(52%)、その他としては、サロンで相談、病棟訪問であった。また、相談者では、家族・親戚が最も多く85件(63%)、次いで患者本人40件(29%)であった。

## ●患者について

患者の年代

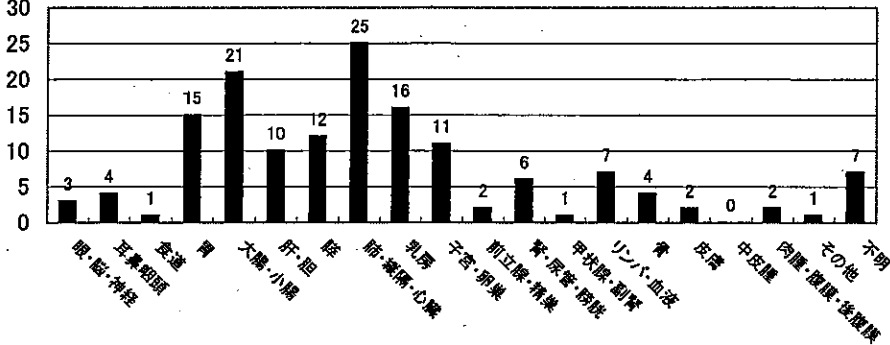


患者の性別



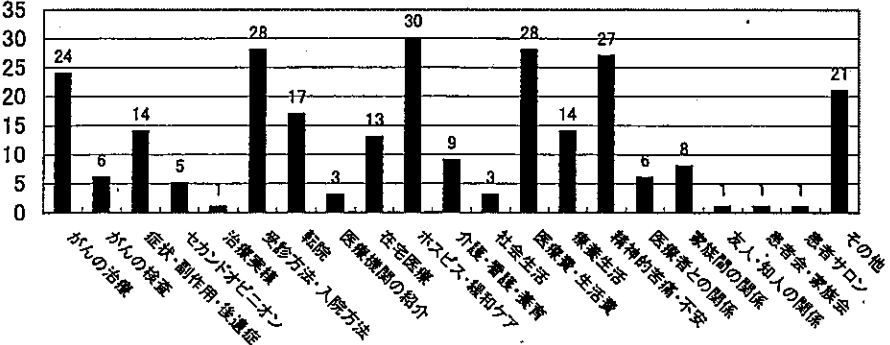
患者の状況として、年代では、70代(28%)、60代(21%)、80代(15%)の順に多く、高齢者層が60%以上を占めていた。性別では、記入もれが多く見られた。また、がんの部位では、肺・縦隔・心臓が25件と最も多く、次いで大腸・小腸が21件、乳房16件、胃15件であった。

(件数) がんの部位(複数回答)



## ●相談内容について

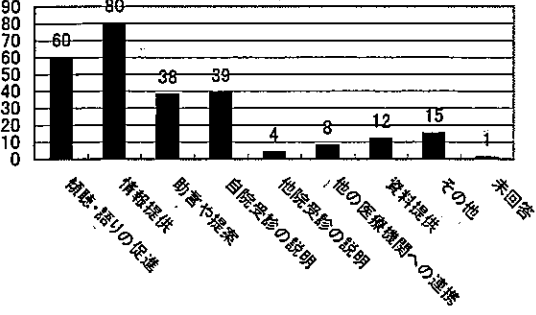
(件数) 相談内容(複数回答)



相談内容では、ホスピス・緩和ケア30件、医療費・生活費28件、精神的苦痛・不安27件、がんの治療24件、転院17件が多かった。その他として、ペプチドワクチンについて4件、補助代替療法、緊急時の対応、葬儀の段取り、話し相手等、医療だけでなく、幅広い対応をされていた。

## ●相談対応について

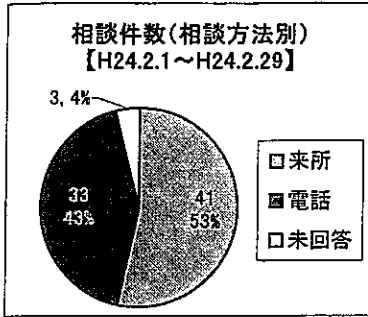
(件数) 相談対応(複数回答)



情報提供が最も多く80件、次いで傾聴・語りの促進60件、自院受診の説明39件、助言や提案38件であった。

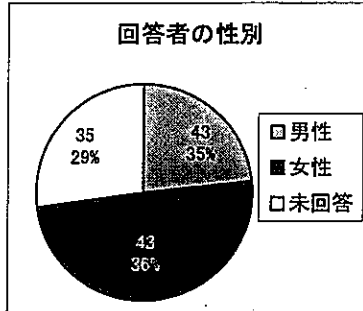
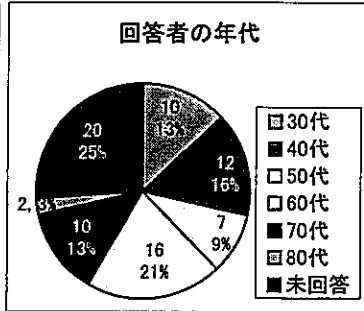
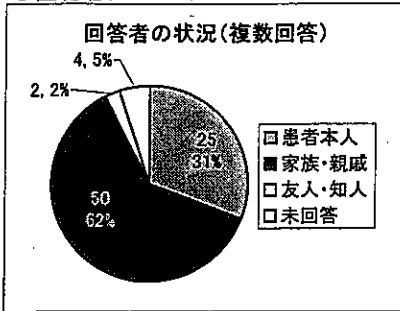
# がん相談支援センター利用状況調査【利用者用】結果概要

## ●相談方法について

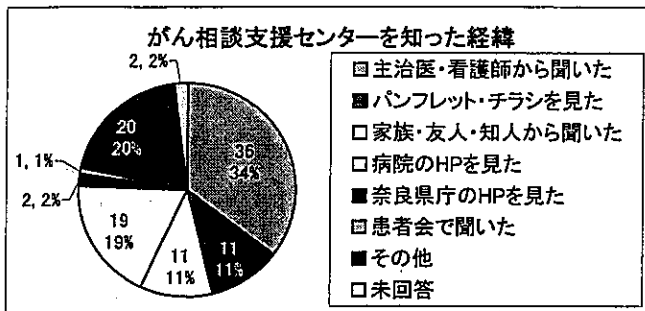


平成24年2月1カ月間のアンケート回答数は77件、うち来所が41件(53%)、電話33件(43%)であった。  
また、回答者の状況としては、家族・親戚が50件(62%)、患者本人が25件(31%)であった。年代別では、家族、親戚の回答者が多かったためか、30代～60代の回答者が多く45件(60%)を占めていた。回答者の年代、性別とも未回答の割合が目立った。(アンケート用紙の構成に回答しづらさがあったと思われる)

## ●回答者について

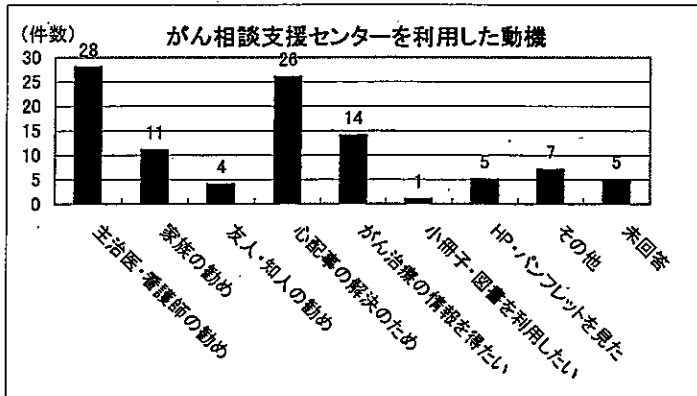


## ●がん相談支援センターを知った経緯



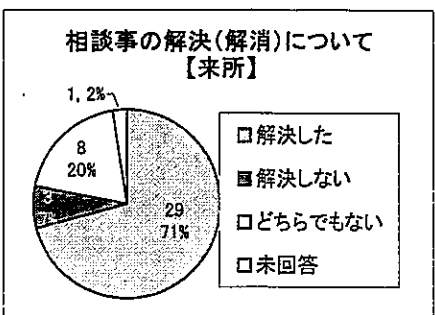
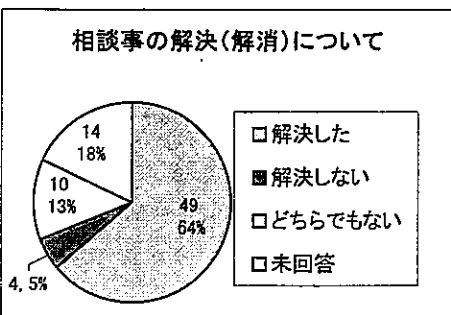
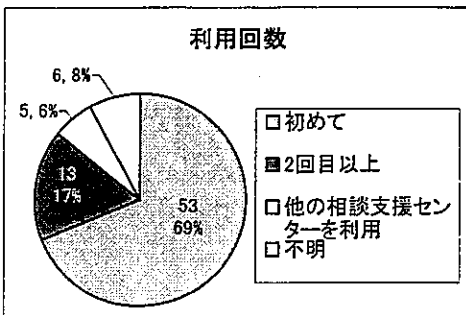
がん相談支援センターを知った経緯は、『主治医・看護師から聞いた』が最も多く36件(34%)、次いで『病院のHPを見た』19件(19%)、『パンフレット・チラシを見た』11件(11%)であった。その他としては、インターネットやがん検診手帳、病棟内のポスター等であった。

## ●がん相談支援センターを利用した動機



がん相談支援センターを利用した動機としては、『主治医・看護師の勧め』『家族の勧め』『友人・知人の勧め』が43件で、相談行動のきっかけとしては、他人からの助言が大きな役割を占めていると思われる。また、『心配事の解決』が26件で、がん相談支援センターを利用することでがん治療に対する不安の軽減を期待していることが窺える。

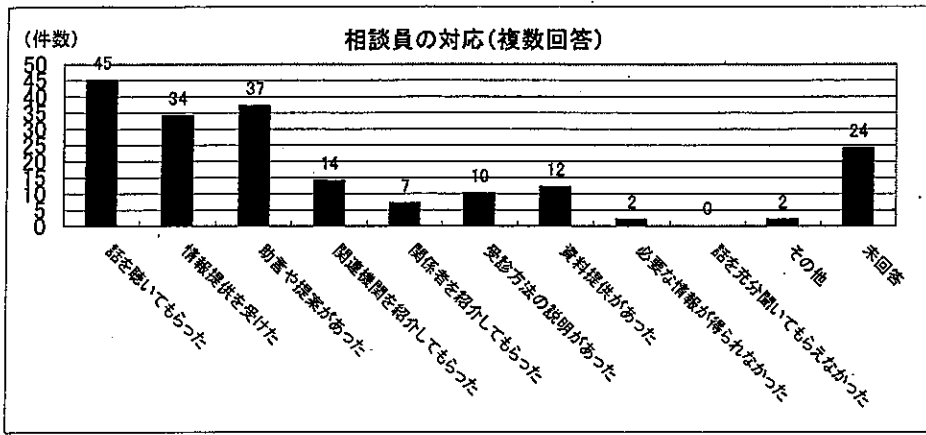
## ●がん相談支援センターの利用回数について ●相談事の解決(解消)について



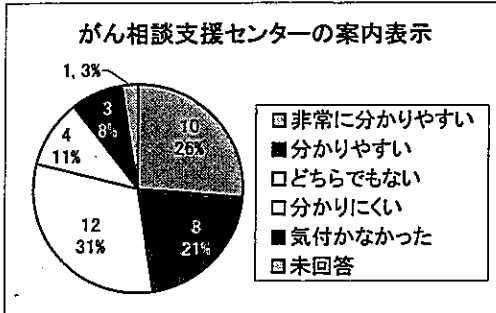
がん相談支援センターの利用回数は、『初めて』53件(69%)、『2回目以上』が13件(17%)であった。

相談事の解決について、『解決した』49件(64%)、『解決しない』『どちらでもない』が14件(18%)であった。来所相談の場合については、『解決した』29件(71%)、『解決しない』『どちらでもない』が11件(27%)であった。

●相談員の対応について



●がん相談支援センターの案内表示について



がん相談支援センターの案内表示について、来所相談された41名について集計を行った。『非常に分かりやすい』『分かりやすい』が18件(47%)、『どちらでもない』『分かりにくい』『気づかなかった』が19件(50%)であった。  
ご意見としては、『地域医療連携室と併記されているので近づきにくい』『窓口で場所を確認した』『総合案内で聞いた』『知っているから分かるが、分かりにくいと思う』や、『「だれにも言えない悩み」きかせて下さい』の文言がよい』など。

●がん相談窓口等に対するご意見、ご要望

- ①相談員の方のご丁寧な説明で、知りたかったことが十分に把握できました。
- ②相談したいことが漠然としている段階で、こちらとしてアプローチしづらい。それを乗り越えると、何でも対応してもらい助かっている。
- ③家族ががんになり、頭が真っ白になり、不安と動揺の時に、支援センターの方から声を掛けて下さり、初めてその存在を知りました。色々お話を聞いて下さり、助言や情報など本当に心の支えになりました。普段は関係ないと思っていた病を得、一生懸命活動して下さる姿に触れ、もっと多くの方に知られるようにと願っています。
- ④相談窓口を知らない時は一人で悩んでいたが、窓口があると聞いて(私は痛みについて相談させてもらった)、その度ごとにいろんな話をしてもらい、参考になる話をしてもらっているの、すごく助かっています。本当に知らない人に利用してもらいたいと思います。
- ⑤妹の疼痛コントロールについて、知人を介して相談員の方から小冊子等、資料提供を受けた。医療用麻薬に対する思いこみが解消され心が軽くなるともに、医師に積極的に申し出てみようと思えた。
- ⑥主人を亡くして6ヶ月。最近になって悲しみが強くなり、気持ちが張り裂けそうだった。つらい思いを出すところがなく、出しても聞いてもらえず。今日は話を聞いてもらってスッキリした。またがんばれそう。ありがとうございます。
- ⑦電話番号表に載ってなく？交換台の人にまわしてもらいましたが、御多忙だろうなあという思いこみもあり、正直申し訳ありませんが、特に初めての人とか慣れるまで敷居が高い気がします。もっと気楽に相談してもよいとわかると利用率が上がると思います。
- ⑧教えてもらったことをやってみて楽になった。いつでも相談にのってもらえるので嬉しい。
- ⑨病院に知人などがいないと、一般にはなかなか知れわたっていないので、もっとアピールされてもよいかと思えます。
- ⑩日曜・祝日も窓口が開いていたらいいと思います。
- ⑪Drにはなかなか聞く機会がないことや、自身の知識を増やすためにも、ちょっとしたことが聞けてよかった。
- ⑫積極的に情報収集をしてもらい、後に再度電話をかけてもらえたことは、とてもよい対応であった。
- ⑬どの病院のどのDrが人気があるという情報が聞きたかったが…。
- ⑭話をきちんと聞いてもらった。しおりの裏の印が役に立った。
- ⑮病院自体のつくりがわかりにくいです。
- ⑯娘のこと。治療を受けているがよくなる。担当医から治療打ち切りと言われていて、何か手立てはないかさがしている。テレビを見て情報収集。情報提供がありうれしい。よかった。
- ⑰入院案内の中に「がん相談」担当と明記するべき。現在の表現ではわかりにくい。